

# 会員の旅の記録から

グループ：悪友会

中川・中野君

幸田・東藤君

個人：馬場、石塚、黒田  
倉多、下村、柳内  
(名簿順)

【写真撮影 馬場啓利】

〔グループ編〕

## 悪友会の報告

絹川、杉本、戸部、藤本、安田

悪友会は上記メンバー以外に石沢、坂本の両君がいますが、二人は所用のため欠席。今回の旅程と写真を下記します。

11月25日（水）

それぞれの出発地から11時過ぎに小田原に集結、小田原城見学  
小田原駅構内の「魚国」でささやかな酒宴。

登山電車で湯本温泉に向かう。駅から坂道を登り“早雲寺”参拝。



北条氏綱が父、早雲の意命  
により建てた名刹  
北条五代の墓がある。  
門前にて

宮ノ下へ移動

嶋写真館でチャプリン等懐かしいセピア色の写真を拝見

その後、富士屋ホテルで世界の著名人の宿泊した写真や署名を見学、我が  
著名人藤本氏が記帳、何時価値が上がるやら？庭園を拝見してコーヒショップ  
で一休み。



強羅館で双三会

11月26日（木）

大湧谷へ向かう。ロープウェイから富士を発見して皆歓声が上がる。  
箱根町まで柳内君と同行



桃源台から元箱根まで海賊船で向かう



旧東海道の杉並木を歩いて箱根町へ



ここで昼食をとり、柳内君とは別れて、三島、修善寺を経由して今夜の宿、  
土肥温泉へ向かう。

土肥温泉の宿へ到着早々、夕日を見に海岸へ出かける。  
本日は良い天気のおかげで、きれいな夕日が見られた。



いよいよ夜、お待ちかねの夕食 魚貝類満載



夜のふけるのも忘れて痛飲。



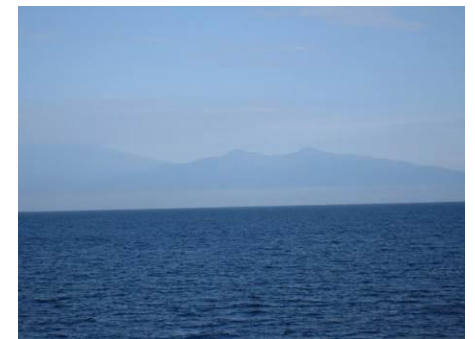
翌朝の朝食

朝食後女将と玄関で記念撮影



駿河湾フェリーで清水港へ

あいにくの天気で駿河湾からの富士は望めず。時折、頂上の雪が見られた。



次郎長の船宿「末広」、



壮士の墓を得て



次郎長の生家へ



次郎長、大政、小政の墓がある梅蔭禅寺



河岸の市で美味しい海鮮丼を食べて、静岡へ  
家康公ゆかりの駿府公園





ここで解散、それぞれの家路に向かう。  
楽しい旅であった。

(終)

#### 編集後記

(スペースの関係でここに入れます)

総会の後、皆さんの夫々の旅行をイメージし楽しみながら纏めました。

紙面の都合で、文章を若干いじったところもあるし、写真を削除したところもあります。ただし、原文のイメージは変えないようにしました。

下村君の写真は私のスキャナーが故障したため、近所の知り合いに頼んで作ったので、もう一つです。ソフトが違うようで十分に調整出来ませんでした・・・ご容赦を。

今回、このアルバムをまとめていて、PCソフトの新しい使い方の実習が出来ました。人間、最後まで新しいことにチャレンジし、楽しく生きてゆきましょう！

(馬場啓利)

## 中川・中野君

総会の翌日は、朝食後すぐに中野君と箱根の散策にでかけた。彼とは卒業後初めての二人旅だ。まずは仙石原に向かった。ススキが原にはちょうど朝の太陽が当たり始めており、一面金色に輝いてとても印象的であった。



ついで湿生花園に向かった。直線距離では写真(下)でも分かるように極近いのだが、バスは色々の施設を巡回するので、予定外の時間を費やしてしまった。



急いで強羅に戻り、ケーブルカー、ロープウェイを乗り継いで大涌谷へむかった。天気は快晴、あちこちから噴出す湯煙も普段より勢いがあったように感じた。



ここでも散策路を最後まで登り温泉卵を買って時間を浪費した。中野君が用意した新幹線に間に合うために、桃源台へ足を伸ばして富士山を見るのを諦めざるを得なかった。

中野君に悪いことしたこと反省しきり・・・。

強羅から小田原に引き返して中野君は新幹線に間に合った。私は一人で小田原城へ向かった。中野君から小田原城の紅葉もきれいと聞いていたからだ。

( 終 )



## 幸田・東藤君

5 講座の幹事の皆さんありがとうございました。

おかげで久しぶりに、冠雪した貫禄のある「富士山」を見る事が出来ました。帰途は、新城市（愛知県）の「モリトピア愛知」に一泊して紅葉を楽しみました。私と東藤君が写した写真をお送りします。

幸田正榮

写真の 1・2 枚目は「冠雪の富士山」



3枚目は「芦ノ湖」



4・5枚目は「モリトピア愛知」の散策路の紅葉、



〔個人編〕（名簿順）

## 馬場君

私的な事で恐縮だが、今回の双三会総会は誠にグッドタイミングだった。と言うのも関東に在住する次男の第一子誕生と重なればよいがと願っていたら、18日に生まれてくれたので、孫に会うことも出来、幸せいっぱい今回の会をエンジョイすることが出来た。（23・24日は2人の息子達一家と楽しんだ）

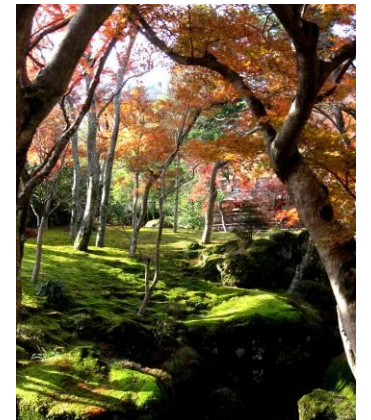
25日の朝は霧雨の中、小田原城を散策、昼食の後、登山鉄道で宮ノ下駅下車。宮ノ下溪谷では全山が紅葉に染まる雄大な景色だ。（写真は溪谷と宮ノ下駅）、



総会の翌日は、快晴の中、まず箱根美術館で特別公開の庭園を散策。見事な紅葉と雨上がりの朝日に映える深緑色で一面の苔の美しさは凄い！！ 絶景なり。

箱根美術館で、苔と紅葉の見事な庭園 →

「早く行かないと富士山にガスがかかると大変だ」と大急ぎでロープウェイへ。



## 石塚君(長井、高家、佐土君合流)

双三会写真メモ

### 小田原城

新大阪で長井君に出会い、同じひかり号に乗る。  
小田原で新幹線を降り、小田急の案内所で長井君が箱根フリーパスを買う。小生は明日の小田急特急券を買う。

長井君と共に街に出て小田原城を目指して歩く。途中のビル地下の日本料理屋で 1000 円の定食をとる。魚が安い。

小田原城にたどりつき天守閣内部を見に入る。見物客は少ない。中で下村君に会う。



### 人車鉄道小田原駅跡

天守閣を見終わり、西裏口から箱根駅伝のテレビ中継で有名な国道 1 号線に出た。

幹事から配布されていた小田原市 城周辺マップを見ていたら西北方に「人車鉄道小田原駅跡」という文字に気づいたので現地に行ってみることにした。人車鉄道とは人が客車を押して進む鉄道である。地図のマークからして駅の構内の跡地を想像してそれらしい地点に行ったが何も見当たらない。近くの郵便局に入って局員に聞いたり、商店の人に聞いても要領を得ず国道沿いをきょろきょろしながら歩きまわると、歩道橋の階段のたもとに石の標柱に「人車鉄道 軽便鉄道 小田原駅跡」とあるではないか。たったこれだけ？とがっかりしたりほっとしたり。「長井君すまんね」と言いながら



大涌谷で途中下車。 →



ガスに隠れそうな「富士山」を待つことしばし、写真を撮った。観光バスで来た人は「富士山は雲の中ね。残念！」と動いて行く。

私とフランスから観光に来ている若いカップルは気長にじっくりと雲の変化を待って「富士のベスト写真」をゲットした。

箱根ロープウェイと富士山 →

その後、桃源台から芦ノ湖を渡り元箱根から旧道を通り、途中で「寄木細工の箱」の工房に立ち寄り、湯本・小田原駅へ。



帰りの新幹線からは夕日に輝く「赤富士」を見ることが出来た。残念ながら見とれていて写真機を取り出す暇がない。「ままよ」とじっくり頭の中の記憶装置にインプットした。目標達成の総会は素晴しかった！！

(終)

写真を撮る。そして登山鉄道の箱根板橋駅に向かった。距離的には小田原城からは小田原駅へ戻るよりは近いが現場付近でうろうろした分ロスをした。

小生の趣味でこんなことは日常茶飯事だが、長井君には迷惑をかけた。

#### 強羅公園

翌日、旅館の玄関前で解散後すぐに強羅公園へ向かう。事前に計画していたわけではないが解散時間が10時と聴いていたのが突然早くなったので思いついた。



若女将がそれを聴いていて親切にも、とっさに割引券をもってきてくれた。

お天気が良く富士山が見事に見えるのは間違いないが電車の指定をとってあるので時間はなく、ここに決めた。高家君、佐土君と同行となった。

みごとな紅葉に言葉がない。

#### 小田急ロマンスカーVSE

強羅から小田原へ向かう。高家君は彫刻の森で下車。佐土君と2人になり小田原で別れた。構内のそば屋で「箱根そば」を食べて小田急「ロマンスカーVSD」に乗車、新宿に向かう。この車両はもう4年も前から走っている看板電車だが、ついぞ乗るチャンスがなかった。

#### 小田急看板の「ロマンスカー VSD」



#### 「ロマンスカー VSD」車内



# 黒田君

箱根湯本散策

平成21年11月25日 黒田勝三

25日(水) 10:35小田原駅下車、駅構内で双三会の面々と再会。  
小生は湯本の早雲寺へ行くので皆と別れ、美術館へ行く柳内氏と湯本  
駅まで同行する。

5講座幹事は14時に強羅館集合なので、早昼食を駅前の「湯葉井の  
店直吉」で湯葉と豆腐の健康食で済ませ、坂道を汗ばみながら早雲寺へ。  
途中箱根町役場に迷い込み職員に裏山の近道を教えてもらう。早雲寺は  
北條早雲から5代までの墓があり、以外に小さく質素な墓に驚く。秀吉  
に敗れ、一族離散の結果でしょうか。



北條家の墓  
早雲寺門

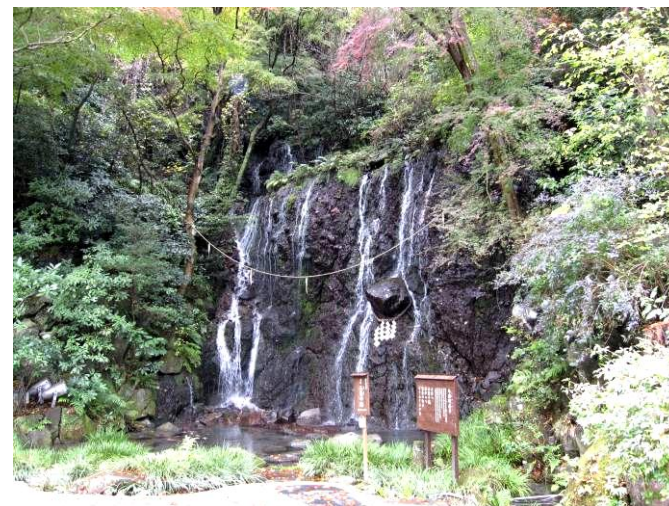


枯山水の庭  
早雲寺境内



寺を出て別の道を駅へ下っていると、橋の手前に玉簾の滝の案内  
があり訪ねることにする。川沿いに上っていくと10分余りで滝に  
着く。

手前に“延  
命の湧き水”  
があり、汗ば  
んだ身体に  
は実に甘露  
であった。



玉簾の滝

玉簾の滝には荻原井泉水と与謝野晶子の歌碑があった。  
時間を気にしながら湯本駅へと急ぐ。商店街まで来ると甘酒のサービス  
があり、頂きながらみやげ物の話をする。

12時52分発の登山電車に間に合い、石澤、絹川両氏と一緒にいる。  
途中から馬場氏が乗車してきて強羅館へと一緒した次第である。



(終)

## 倉多君（会長）

会員のみなさん多数の参加をありがとうございました。  
気がかりだった天候も回復し、名残の紅葉も楽しめ、晴れ間から富士山も見られてよかったです。（写真は表紙に使用したので参照方）

第一日目(11/25) は仙石原の「ポーラー美術館」と「ガラスの森美術館」をまわりました。

写真は、ポーラー美術館  
入り口の「紅葉」です。



第二日目(11/26) はケ  
ーブル・ロープウェイ  
・ 海賊船を乗り継いで、  
箱根町の「関所跡」・元箱根  
の「成川美術館」を訪しました。

表紙に使用された「富士山」の写真は、姥子を過ぎたところでゴンドラの中から撮った雄姿です。僅かな時間でしたが美しい姿を現しました。

下の写真は、箱根町棧橋の「海賊船」です。



ありがとうございました。

(終)

その後、元箱根から国道1号線をバスで湯本まで下りました。途中、宮ノ下を過ぎたあたりから窓の外には、美しい紅葉の連続でした。帰りの新幹線で富士川あたりを通過するとき、車窓から再び富士山が見えました。

## 下村君

(始めに編集者からお断りするが、彼からの手紙は紀行文(A4 3枚)を貰ったが量が多くて転記は困難！！ 抜き書します。下村君ご勘弁を！)

何時もの通り気ままに起きて大阪駅へ。新幹線は15年ぶりの乗車だ。「ひかり」の車内の様子の変わりように驚愕。我ながら都会に住む田舎人を自覚した。

小田原城では天守閣に登った。北には山、南は城下町、その先はすぐ駿河湾だ。写真では沖の方に伊豆半島を望む。なるほど、小田原名産品が蒲鉾と魚の干物であるのは当然と納得！



登山鉄道では、深い谷に沿って林の中をスイッチバックしながら強羅へ。

強羅駅に着いたのは午後4時19分、駅の周辺をうろつくこと半時間あまり。チェックインの最終者となり、幹事は日にちを間違えたのではないかと心配したとのこと。心配してもらい有難う。

総会、宴会、2次会と続いたが、誰かが言った「我々のクラスは皆元気で欠けた人が少ないのは不思議だ」と、すると「理由は簡単！ ミンナ バカで、50年間ストレスなしのノンビリ生活をしたからだ」と別の声が。

納得！（編集者 注：いいですか？）

11月26日、集合写真のあと強羅公園へ。高家、石塚、佐土君らと会う。



# 柳内君

第11回双三会総会時の美術館めぐり

柳内 暉

第5講座の幹事の皆さん、ご苦労様でした。お陰で楽しい2日間でした。箱根は高校の修学旅行、1965年の日本初のオートミッション付ワンマンバスの箱根登坂試験以来でした。幹事殿の予備調査、関連資料、時間表等を参考に、「美術館めぐり」を楽しみました。彫刻の森美術館、ポーラ美術館、ガラスの森美術館を訪問。残りの美術館は今後の楽しみにします。私は、モネよりもピカソにひかれました。強烈な印象があり、感動しました。

大涌谷からの富士山、芦ノ湖、箱根の関所・杉並木等 Alles gut でありました。

箱根彫刻の森の美術館 ピカソ館、

屋外彫刻など



(フィルムがなくなったので、以後は、写真なし。残念！)  
ロープウェイで雪の富士山、大涌谷の噴煙、紅葉、箱根の山全景を楽しむ。  
途中で眼下の杉が天を刺すコーン状のドリルのように大変印象的だった。

芦ノ湖を「海賊船」で横断、箱根だから「山賊船」の方がピッタリ。名称と船型も変えるべきだ！これが東京人の好みなのか・・・？。

今日の見所は「箱根の関所」だ。ここは、昭和38年に発見された古文書や遺跡の発掘調査から正確に再現されていた。江戸時代の初期に「女出」を取り締まったとか。関所破りには残酷なまでにきびしく、奉公先から帰る少女まで処刑されたとの記録もあり、その名前をつけた池が現存する。

旧街道は400年の歳月を経てうっそうと昼なお暗い並木道だ。神々しい雰囲気は、伊勢神宮の参道を通して本殿に向かう気持ちと同じになったのでは？

関所役人は、旅人がこの雰囲気の中では「人間は、神とお上の前で敬虔な気持ちになれば、素直になり、ウソはつけない」と読んでいたのではないか。おどろくべし！

江戸時代にタイムスリップしてとりとめもない空想を楽しんで歩いた。

朝からの歩き通しで足も痛くなり、バスで山を降りた。小田原では近くの老夫婦から「無事に大阪まで帰ってくださいと」激励されて別れた。

駅前でアジの一夜干しの土産を買った。今年のだる会 旅行が終わった。

旅行中にぼんやりと感じていたことや、ささいなこと、あやふやなものが旅行記を書くことによって、記憶の中にしっかりと保管されることになった。

感謝！ (最初で最後の旅行記になるか・・・？)

(終)



富士山をバックに大涌谷にて



ガラスの森美術館の一部

(終)

## 安田君の作陶 記念の品々 プレゼント

安田君が「男山窯」(個人窯)で作陶の記念陶器を総会出席者へプレゼントした。初めは平成11年の総会で「双三会」銘入りの「ぐい飲み」、次に、平成14年 会のシンボルマークを募集して決まった図案で「湯飲み」、さらに平成20年の卒業50周年記念には「湯飲み」だ。

安田君有難う！！ここに感謝の意をこめてその写真を掲載します。



平成11年 神戸花隈で →

↓平成14年 伊良湖岬



↓平成20年 H・オークラ神戸



HP:「男山窯」([www.photo-flower.com/tohgei/](http://www.photo-flower.com/tohgei/))は凄いですぞ!

是非HPを訪問してください